

金城学院の2004年度の決算について、お知らせします。  
 学校法人は、学校法人会計基準という法律で定められた会計処理によって計算書を作成しますが、ここでは消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表の3表によって決算概要を説明します。

## 2004年度 収支の概要

### 〈消費収支計算書〉

消費収支計算書は企業で言えば損益計算書にあたりますが、学校法人特有の基本金という考え方が採り入れられています。

2004年度は大学の人間科学部の3学科と、生活環境学部の2学科が開

設3年目を迎え、学生数が増加したこと等によって帰属収入の合計は2003年度に比べ4億1千5百万円増加し、82億5千2百万円となりました。また、人件費が1億1百万円、教育研究経費が2億9千6百万円、管理経費が1億4千8百万円増加したこと等によって、消費支出の合計は5億3千7百万円増加し、80億8千2百万円となりました。この結果、

帰属収支差額は1億7千万円の収入超過となりました。

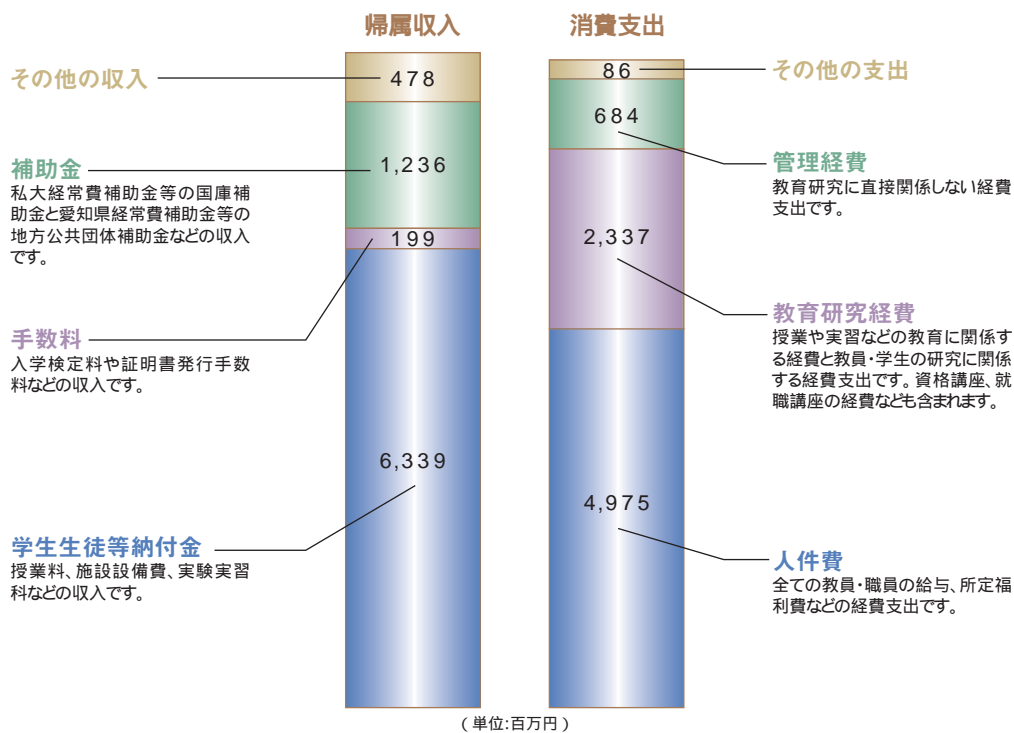
また、施設設備の充実を図るために取得した固定資産の金額は、基本金として組入れなければならないため、2004年度の基本金組入れ額は55億3千6百万円になり、当年度消費支出超過額は53億6千6百万円となりました。

### 2004年度 消費収支計算書

(単位:千円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
学生等納付金	6,342,458	6,339,400	人件費	5,016,023	4,975,274
手数料	193,590	199,248	教育研究費	2,099,895	2,336,884
寄附金	17,948	24,131	(内、減価償却額)	874,087	859,280
補助金	1,087,899	1,236,139	管理経費	698,207	684,425
資金運用収入	79,590	84,265	(内、減価償却額)	28,816	19,802
資産売却収入	0	9,242	借入金利息	84,274	84,245
事業収入	149,924	154,389	資産処分差額	1,600	1,510
雑収入	194,124	205,972	予備費	192,700	
帰属収入合計	8,065,533	8,252,786	消費支出の部合計	8,092,699	8,082,338
基本金組入額	5,900,287	5,536,662	当年度消費支出超過額	5,927,453	5,366,214
消費収支の部合計	2,165,246	2,716,124	前年度繰越消費収入超過額	515,870	515,870
			翌年度繰越消費支出超過額	5,411,583	4,850,344

### グラフで見る消費収支



### 〈資金収支計算書〉

資金収支計算書は、当該年度の収入と支出に関するすべての資金の動きを科目ごとに表したものです。

収入の部の前年度繰越支払資金と支出の部の次年度繰越支払資金の差

が資金の増減になります。2004年度の場合89億1千7百万円から42億3千5百万円に減少しました。この主な原因は、薬学部の開設と大学の環境整備のために行った新校舎の建設や、高等学校の校舎の耐震工事他の資金として使用したことなどに

よります。

2005年度入学生が納入した学納金は、前受金として計上されています。2004年度は13億1千3百万円でした。その他の収入は、預り金の受入や前年度の未収入金等です。

#### 2004年度 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部		
科目	予算	決算
学生生徒納付金収入	6,342,458	6,339,400
手数料収入	193,590	199,248
寄附金収入	12,200	12,200
補助金収入	1,087,899	1,236,139
資金運用収入	79,590	84,265
小計	7,715,737	7,871,252
資産売却収入	100,000	110,672
事業収入	149,924	154,389
雑収入	194,124	205,972
借入金収入	65,452	98,398
前受金収入	1,230,415	1,313,555
その他の収入	2,170,296	2,126,801
資金収入調整勘定	1,356,088	1,486,880
前年度繰越支払資金	8,917,150	8,917,150
合計	19,187,010	19,311,309

支出の部		
科目	予算	決算
人件費支出	4,941,385	4,928,249
教育研究経費支出	1,225,808	1,477,604
管理経費支出	669,391	666,115
借入金利息支出	84,274	84,245
借入金等返済支出	341,778	334,431
小計	7,262,636	7,490,644
施設関係支出	4,761,024	4,760,542
設備関係支出	1,238,445	793,513
小計	5,999,469	5,554,055
資産運用支出	100,000	300,600
その他の支出	1,872,899	1,824,841
予備費	114,600	
資金支出調整勘定	87,940	94,142
次年度繰越支払資金	3,925,346	4,235,311
合計	19,187,010	19,311,309

### 〈貸借対照表〉

貸借対照表は、当該年度末時点の財政状態を表すもので、資産の部、負債の部、基本金の部、消費収支差額の部からなっています。

2004年度の場合、固定資産が46億8千5百万円増加し、流動資産が

44億7千万円減少したため、資産の部合計は2億1千5百万円増加し、392億8千9百万円となりました。

固定負債は借入金の返済等によって1億9千万円減少し、流動負債は前受金が増加したことなどによって2億3千6百万円増加し、負債の部合計は61億4千7百万円となりまし

た。基本金は、新校舎を始めとする固定資産の取得によって55億3千6百万円増加し、379億9千2百万円となりました。

消費収支差額は48億5千万円の支出超過となっています。

#### 貸借対照表 (2004年3月31日)

(単位:千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	33,989,218	29,303,796	4,685,422
有形固定資産	26,894,963	22,210,625	4,684,338
その他の固定資産	7,094,255	7,093,171	1,084
流動資産	5,300,435	9,770,415	4,469,980
資産の部合計	39,289,653	39,074,211	215,442

負債・基本金・消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	4,212,819	4,403,771	190,952
流動負債	1,935,064	1,699,118	235,946
基本金の部	37,992,114	32,455,452	5,536,662
消費収支差額の部	4,850,344	515,870	5,366,214
負債・基本金・収支差額の部合計	39,289,653	39,074,211	215,442

2004年度は、大学では人間科学部の3学科と、生活環境学部の2学科が開設3年目で年次進行中であり、4年生が在学していない状況で、薬学部の開設準備と学内の環境整備を同時に行ったため、資金的には収入に対して支出の多い年度となりました。しかし、これらの施設設備の充実は今後に向けて環境を整え、さらに充実し

た教育研究を行うために必要不可欠と判断して実施したもので、今後その効果が現れてくるものと期待しています。

また、教育研究活動のために教育研究経費を昨年度に比べ2億9千6百万円増加しました。同じく管理経費も1億4千8百万円増加し、学生サポートの充実を図ることができました。

